

共生社会推進特別委員会 委員会調査報告書

令和6年2月1日(木)に、中井やまゆり園外1か所において、次の調査事件について調査したところ、その概要は別紙のとおりでした。

調査事件

- 1 当事者目線の障がい福祉について

神奈川県議会議長 加藤元弥様

共生社会推進特別委員会委員長 新堀史明

1 調査の概要

- (1) 調査箇所 らっかせい、中井やまゆり園
- (2) 出席委員 新堀史明委員長、佐藤けいすけ副委員長、
吉田あつき、山口美津夫、神倉寛明、楠梨恵子、長田進治、森正明、
市川さとし、吉川さとし、平野みぎわ、小野寺慎一郎の各委員
- (3) 随行者 安武副主幹（議会局議事課）、水島副主幹（福祉子どもみらい局総務室）、本島副主幹（スポーツ局総務室）、工藤副主幹（教育局総務室）
- (4) 調査日 令和6年2月1日(木)
- (5) 行程 らっかせい → 中井やまゆり園

2 中井やまゆり園

(1) 調査目的

中井やまゆり園では、令和5年5月に県立中井やまゆり園当事者目線の支援改革プロジェクトチームにおいて取りまとめられた、「県立中井やまゆり園当事者目線の支援改革プログラム」の提言を実践するために、取組内容やスケジュールを具体化した「県立中井やまゆり園当事者目線の支援アクションプラン ～一人ひとりの人生を支援する～」を策定したことから、その後の取組状況の確認を行う。また、あわせて地域共生駅前進出モデル事業の活動拠点である、らっかせいでの活動も確認することにより、今後の委員会調査の参考に資するものとする。

(2) 現地視察

中井やまゆり園の調査に先立ち、らっかせいの視察を行った。



(3) 調査先出席者

井上一福祉子どもみらい局参事監（障害者支援改革担当）、吉田信雄中井やまゆり園長、諸星副園長、為田支援企画担当部長、細川生活支援部長ほか関係職員

(4) 委員長挨拶



(5) 中井やまゆり園（参事監及び園長）挨拶

(6) 施設視察

(7) 取組内容説明

以下の内容等について、説明があった。

ア 中井やまゆり園について

イ これまでの園の取組について

ウ これからの園の取組について

(8) 質疑応答

質 疑 先ほどの事例における、強度行動障害の方に寄り添った対応を園としてどのように取組んでいくのか伺う。

応 答 まさに本人の声や思いをどう受け止めながら、支援を改善してくのか、そのスタートラインに立ったところだと思う。我々が今できるのは、いろいろな体験であって、今まではこの閉ざされた施設の中での暮らしをされてきた方々なので、とにかくより多く外に出ていく、施設の中においても新しい取組を行うなど、いろいろな体験をするなかで、こんなことが好きだったのか、こんな場面で笑顔が出るんだ、そんなことを一緒に感じながら、特に自分の思いを声に出せない方だったりしますので、本人の気持ちをしっかり捉えていくことが必要だと思う。

加えて、本人がこれまでどんな人生を歩んできたのか、どんなところで苦勞をしてきたのか、そういった成育歴を親御さんやこれまで関わってきた方に伺って、本人の喜びの原点を理解する、思いを寄り添いながら聞いていく、それが我々のできることなのかなと思います。

質 疑 今の話から体験の場をより多く用意する必要があると感じたが、地域での活動などを増やすような取組はあるのか。

応 答 地域での活動といえば、中井やまゆり園はグリーンテックという工業団地の中にあるが、その中の何社かは視察に来てくれて、各社障害者を雇用しているので、一緒に清掃作業に取り組みませんか、とか、工場見学に来てもいいですよなど近隣の事業者から新しい体験の場の提供を受けているところである。また、地域活動の中では、県が日本郵政と協定を結んでいる中で、中井やまゆり園もその輪の中に入れてもらっており、今は秦野市の郵便局を定期的に訪れて交流をしている。

質 疑 身体拘束ゼロを目指すとのことだが、園の具体的な取組を伺いたい。

応 答 現在行っている身体拘束が居室施錠だとしたら、本人が落ち着かないからクールダウンするために行うのですが、本人がなぜ不安な状態、落ち着かない状態になっているのか、我々がどう関われば本人が落ち着くのかをより深めていければ、居室施錠でなくても、いろいろな方法があると思っています。

ただ、我々は支援の改善に取り組む中でまだ見つけられていないので、やむなく居室施錠を行っているが、本人の成育歴を含めて、多角的に理解していく中で、おそらく身体拘束ではない、本人との関わりの中で、声かけなのか、我々の姿勢なのか、別の関わり方のなかで、そういった状態をつくらないようにすることができれば、身体拘束ゼロは実現できると考えています。

質 疑 職員の人権意識の希薄さを指摘されていたが、職員の研修の場や、研修に行き行って学んだこと、気づきを仲間と共有できる取組があるのか伺う。

応 答 民間施設との交流や他の施設との交流など、職員が学ぶ場を県立施設の職員向けに行っている。ただ、まだまだ十分ではなく、外の場を知る機会は重要だと思う。同時に、午前中に視察されたらっかせいのように、街中に出て行って、地域の方と職員と利用者が一緒に時間を過ごす中で学ぶこともたくさんあると思う。

専門的な研修とともに、地域、外の場で職員が学んでいくことが大事であると考えている。

質 疑 話を聞いていて、教育委員会と同じような感想を持った。教育委員会には、学校の先生が県庁で働き、また学校に戻っていく。園長も以前は県庁の本庁にいたが、今、実際園に来て考えが変わったことがあるのではないかと考えるが、伺いたい。

応 答 率直に言いますが、私自身が利用者と生身の人間同士の付き合い、一緒に生活する中で、いいこともあるし、まいったなと思うこともたくさん

んある。ただ、ここでの暮らしみたいなのが本当に分かっていなかったな、と。もちろん情報としては分かります。ここで暮らすということ、彼ら、彼女たちの本当の豊かさは実際に触れてみないと分からなかったなと思っている。

やはり中井やまゆり園を変えていくというのは、ヴィジョンや改革プログラムがあるとか、アクションプランがあるとかその文字に書かれていることを実践していくのですが、もっと現場の中にある息使いであるとか、そういったものが分からないと、園を変えていくこと、職員と一緒に何かやっていくことは、本当にできないことなんだなと実感している。これからも本庁の職員は、一緒に時間を過ごしていくことが大事なんだなと、率直に思っている。

質 疑 低栄養の方が多いとのこと、車いすの方が多いとのこと、その課題に対して、医療との連携などの取組みを伺いたい。

応 答 必要なケアの前に、我々が今1番反省しなければいけないのは、日常の暮らしの中で、利用者の体を動かす時間が相当に奪われていた。居室施設が20時間以上されているのは論外だが、そうではなかったとしても、生活の中で、例えば、我々は洗濯をして、干す、たたむといった日常の小さな動きが健康を作っていると思う。そういった日中の活動がほぼ奪われた暮らしの中で、体力低下につながり、それが重なって医療的な部分まで問題が進んでいく。

医療との連携に関しては、医療を必要とする前に、リハビリをやるなど、日ごろからの活動が重要であると考えている。

また、中井やまゆり園は、この20年の中で、話せた人が話せなくなり、歩けた人が歩けなくなった。ただこれは園に限ったことでなくて、全国の入所施設で起きている。ただ、神奈川県だけがこの問題を表に出した。なので、この問題を初めて耳にする人も多いかもしれない。これはすぐに解消できる問題でもない。今後、医療と福祉が真の連携を結んだときに解消されると思う。これは知的障害の分野の話だけではなくて、精神疾患、認知症など、諦められてしまっている人たちが非常に多い。

神奈川県はいち早く未病の考えを取り入れているので、未病もあわせながら、医療と福祉の連携していくことが重要だと思う。

質 疑 行動障害の対応は、刺激の遮断という従来の方法から、新しいメソッド、常識が変わりつつあるのか伺いたい。

応 答 園の考え方は、方法論を変えるとといったことから始めたわけではなくて、失われた暮らしを改善したい、豊かにしていきたいというところから利用者の幸せをつくっていかうということであった。なので、これま

で行っていた支援のやり方が悪い、間違っていたということではなくて、行動障害の方へのアプローチとして、利用者に寄り添った方法を行うようにしている。

(9) 調査結果

- 中井やまゆり園のこれまでの概要は次のとおりであった。
 - ・ これまでは利用者のために刺激を遮断するなど、閉鎖的な暮らしを行っていた。
 - ・ 強度行動障害の方の行動を制限することを優先した結果、生きづらさを強めてしまった。
 - ・ 安全・安心に生活することを第一とし、人との関わりが薄れてしまった。
 - ・ そういった中で不適切な事案も多数発生してしまった。
- 現在、園を変えるために行ったことは次のとおりであった。
 - ・ 利用者の暮らしを豊かにすること、具体的には日中活動に全員参加させるようにした。
 - ・ 居室施設の廃止を試行するなどにより、職員との関わりも増えてきた。
 - ・ 日中活動が増え、利用者の新しい一面が見えた。
 - ・ 利用者本人の暮らしが変わり、職員も変わった。
- さらには、利用者も職員も幸福感を得て、関わる人たちを地域に広げ、皆が当事者になる、自分事として捉えるようになることを目指しているとのことであった。
- これらの取組は、当事者目線の障がい福祉に係る今後の委員会調査をする上で、大いに参考となった。

